

2009年 第13回日本統合医療学会 (IMJ)

生源[®]のマウス十二指腸絨毛内有窓型毛細血管の窓幅から評価したアンチエイジング効果

○阿部一彦 1)、大縄悟志 1)、新 良一 1)、金内長司 1)、水谷武夫 1)、三浦竜介 2)、関口守衛 3)、西川俊郎 4)、小林慎雄 5)
1)(株)エイ・エル・エイ中央研究所、2)(株)シー・エム・シー、3)赤坂関口クリニック
4)東京女子医科大学・病理診断科、5)東京女子医科大学・第一病理

乳酸菌の混合培養による発酵産物(生源[®])が、加齢マウス十二指腸絨毛内の有窓型毛細血管(以下、毛細血管)の窓幅の狭窄を抑制するかどうかを定量的に評価した。

【方法】

4週齢 BALB/c マウス(雄)を通常飼料飼育(以下、通常)群と1%生源[®]含有通常飼料飼育(以下、1%生源[®])群の2群に分け6ヶ月齢まで飼育した。十二指腸を採取し透過電顕にて毛細血管を撮影し窓幅を定量的に評価した。

【結果】

通常6ヶ月齢(A)は $57.47 \pm 8.93 \text{nm}$ (n=4)であった。1%生源[®]6ヶ月齢(B)は $71.86 \pm 10.38 \text{nm}$ (n=4)であった。また、通常4週齢(C)は $73.11 \pm 11.10 \text{nm}$ (n=4)であった。BとCの窓幅との間に有意差は認められなかった。しかし、Aの窓幅は、B及びCの窓幅との間に有意差が認められた。

【結論】

生源[®]は加齢によるマウス十二指腸の毛細血管の窓幅の狭窄を抑制することが明らかになった。